鹿島のヒーロー 今日は俺だ

ブエノ初G 首位射程 オーレ

鹿島 2－0 FC東京　14日

今季の鹿島を象徴するような先制点だった。

前半2分、MFレオシルバのCK。遠いサイドで相手と競り合いながらDFブエノがヘディングシュート。自身の今季初得点がゴール左隅に吸い込まれ、「チームに落ち着きをもたらすことができてうれしい」と喜んだ。

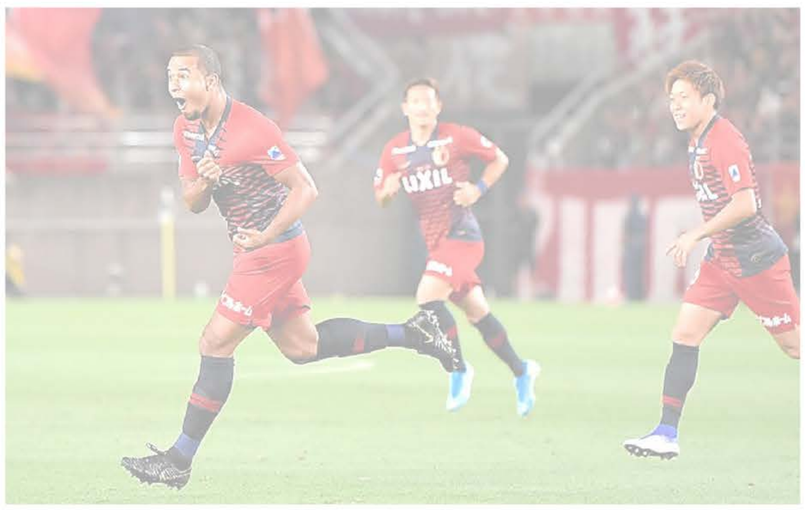
今季のJ1で得点を奪った鹿島の選手はブエノで16人目。日替わりで選手が活躍するのが今季の鹿島だ。

それは先発が固定できていない裏返しでもある。夏に3選手が海外移籍しただけでなく、けが人も続出した。だが、使われた選手がその場をチャンスに変えてきた。けがで出遅れたMF白崎や今季途中加入DF小池はシーズン途中に先発に定着、法大サッカー部を辞めてプロ入りしたFW上田は控えの切り札となっている。

ブラジル出身で24歳のブエノもその一人。開幕当初はセンターバックの4、5番手だった。「いつかチャンスをもらえると思って練習してきた」。5試合連続での先発で、この試合で貴重な先取点を奪うだけでなく、FC東京の快足FW永井と力強いFWディエゴオリベイラを封じた。

主力の日本代表選手が次々と海外へ移籍する過渡期の鹿島。それでも、1位の相手を直接対決でたたき、残り8試合で勝ち点差はわずか1。常勝と呼ばれるチームの真骨頂だろう。

（河野正樹）



前半、先制ゴールを決めて駆け出す鹿島のブエノ（左）＝伊藤進之介撮影

◇厚別　11,254人

札幌（コンサドーレ）1〔0－1 1－2〕3 仙台（ベガルタ）

前32分㊤松下③
後5分㊦荒野①
後8分㊤マテ③
後40分㊤ハモンロペス⑤

札幌：GK 昌聖潤
DF 坂泰斗 森 眠 ルーカスフェルナンデス 荒野拓馬 沢井直人 鈴木ジェイチャップマン
MF 早坂勇翔 金子 福森晃斗 宮澤裕樹 ハモンロペス 長谷川
FW 鈴木武蔵 ジェイ

仙台：GK スウォビク 蜂須賀孝治
DF テセ 岡山一成 田下周汰 永戸勝也 松下佳貴 関口訓充 ヨンア
MF 富田晋伍 永戸 富樫敬真 松下 道関大昭 ハモンロペス 長谷川
FW 石原崇兆 小林悠

（4・5・1）（3・6・1）（4・4・2）

5　シュート　12

交代㊦深井（後1分、早坂）、アンデルソンロペス（後22分、白井）、菅（後35分、荒野）、崇（後22分、関口）、長谷川（後27分、道渕）、ジャーメイ（後33分、長沢）▽警告㊦鈴木、ジェイ㊤道渕

◇等々力　22,571人

川崎（フロンターレ）2〔2－0 0－0〕0 磐田（ジュビロ）

前22分㊤脇坂③
前35分㊤山村①

川崎：GK 新井和徳
DF 渡邉千真 村上巧也 田中碧 車屋紳太郎 守田英正 脇坂泰斗
MF 阿部浩之 長谷川竜也 小林悠
FW 知念慶 登里享平 脇坂泰斗

磐田：GK カミンスキー 小大輔
DF 藤川祐紀 ムサエフ 宮崎智彦 アダイウトン 荒木大吾 上原力也 ルキアン
MF 青木亮太 上田綺世 木原励 山田大記
FW 川辺駿

（4・5・1）（3・5・2）

12　シュート　8

交代㊤脇坂（後20分、長谷川）、小川（後33分、中村）、山本（後1分、松本）、川又（後20分、中山）▽警告㊤川谷、㊦大南、ムサエフ

◇ニッパツ12,581人

横浜FM（マリノス）3〔0－0 3－0〕0 広島（サンフレッチェ）

後22分㊦仲川⑩
後36分㊦ティーラトン②
後39分㊦エリキ②
＝PK

横浜FM：GK 杉本健勇
DF 松原后 デゲマルチンス 畠中槙之輔 ティーラトン 扇原貴宏 マルコスジュニオール エリキ 伊藤翔 遠藤渓太
MF 喜田拓也 大津祐樹 広瀬陸斗
FW 仲川輝人

広島：GK 大迫敬介
DF 荒木隼人 佐々木翔 ハイネル 塩谷司 青山敏弘 柏好文 東俊希
MF 森島司 野津田岳人 藤井陽也 サロモンソン 高萩洋次郎 ハイネル 川辺駿
FW 青山敏弘 大迫敬介

（4・3・3）（3・6・1）

17　シュート　8

交代㊦渡辺（後30分、マルコスジュニオール）、マテウス（後33分、遠藤）、大津（後40分、喜田）、㊤森島（後12分、東）、サロモンソン（後30分、ハイネル）、柴崎（後35分、青山）▽警告㊦ティーラトン、エリキ、喜田㊤青山、大迫、野上

◇ノエスタ20,215人

神戸（ヴィッセル）2〔1－0 1－1〕1 松本（山雅）

前13分㊦ビジャ⑪
後35分㊦小川②
後48分㊩セルジーニョ①

神戸：GK 前川黛也
DF ダンクレー 大崎玲央 フェルマーレン 西大伍 サンペール 酒井高徳 ビジャ 山口蛍
MF 田内田中 中坂勇哉 飯倉大樹 藤田直之 パウリーニョ 高中勇太 セルジーニョ 阪野豊史
FW 橋本英郎

松本：GK 守田達弥
DF 橋内優貴 隼田健太 増山朝陽 橋美智也 野嶽惇也 藤谷壮 中美慶哉
MF 藤田息吹 永井謙佑
FW 高中勇太 セルジーニョ 阪野豊史

（3・5・2）（3・6・1）

16　シュート　11

交代㊦小川（後26分、古橋）、増山（後36分、ビジャ）、橋本（後47分、田中）、㊩杉本（後20分、藤田）、永井（後27分、阪野）、中美（後33分、町田）

◇大分陸　9,152人

大分（トリニータ）2〔2－0 0－1〕1 湘南（ベルマーレ）

前42分㊂三平①
前46分㊂伊佐①
後37分㊨野田③

大分：GK 高木駿
DF 三竿雄斗 岩田智輝 鈴木義宜 高畑奎汰 岡野洵 小林裕紀 藤本一輝
MF 小塚和季 田中達也 伊佐耕平 オナイウ阿道
FW 鳴田和斗

湘南：GK 秋元陽太
DF 坂野寛大 藤岡浩哉 大古将太朗 金子大毅 杉岡大暉 山根視来 山田直輝
MF 梅崎司 三竿健斗 高山薫 菊地俊介 野田裕喜 斉藤光毅 岡本拓也
FW 山崎凌吾

（3・4・3）（3・4・3）

8　シュート　8

交代㊂嶋田（後1分、伊佐）、小塚（後20分、三竿）、高山（後45分、岡野）、㊨菊地（後1分、斉藤）、野田（後21分、山田）、山根（後35分、古林）▽警告㊨金子

◇カシマ　27,285人

鹿島（アントラーズ）2〔1－0 1－0〕0 東京（FC）

前2分㊧ブエノ①
後33分㊧セルジーニョ⑩

鹿島：GK 権純泰 林彰洋
DF 小泉慶 昌子源 犬飼智也 小山廉 池田昭蔵 三竿雄斗 白崎凌兵 土居聖真 伊藤洋輝
MF 永木亮太 レオシルバ 安部裕葵 ジュニオールパンバ 荒木遼太郎 遠藤康 ディエゴオリベイラ
FW 鈴木優磨

東京：GK 林彰洋
DF 室屋成 森重真人 吉本一謙 森下龍矢 高橋秀人 東慶悟 永井謙佑
MF 橋本拳人 高萩洋次郎 ナ・サンホ 田川亨介 ジャエル 三竿雄斗 室屋成
FW ディエゴオリベイラ

（4・4・2）（4・4・2）

7　シュート　12

交代㊧名古（後1分、白崎）、上田（後25分、伊藤）、鄭昇炫（後36分、三竿）、㊧ナ・サンホ（後21分、大森晃）、田川（後34分、ディエゴオリベイラ）、ジャエル（後34分、永井）▽警告㊧三竿㊧室屋

◇パナスタ23,287人

大阪（ガンバ）1〔0－0 1－0〕0 鳥栖（サガン）

後39分㊧渡辺①

大阪：GK 東口順昭
DF 高尾瑠 丸橋祐介 藤春廣輝 高木彰人 三浦弦太 金英権 丸山祐市 高尾瑠 田川亨介 遠藤保仁 井手口陽介 パトリック 倉田秋 金安健太 宇佐美貴史

鳥栖：GK 高丘陽平
DF 藤田息吹 金井貢上 原川力 木本恭生 松岡大起 小野瀬康介 福田晃斗 金森健志 クエンカ
MF 原川力 小野瀬康介 福田晃斗 金森健志 クエンカ
FW 豊田陽平

（4・4・2）（3・4・3）

12　シュート　15

交代㊧アデミウソン（後21分、小野瀬）、渡辺（後27分、パトリック）、スサエタ（後38分、倉田）、㊨小野（後7分、安庸佑）、豊田（後35分、原川）、安在（後44分、金森）▽警告㊧小野瀬

日本 開幕白星 ドミニカ共和国に3―1

バレー W杯女子　14日

4年に1度行われる大会は、横浜アリーナなどで開幕し、日本はドミニカ共和国を3―1で下し、白星スタートとした。日本は石井（久光製薬）、古賀（NEC）の強打を軸に最初の2セットを連取。第3セットは逆転されて落としたが、第4セットは中盤以降に連続得点でリードを広げ、突き放した。

前回大会覇者の中国は韓国に3―0で快勝。昨年世界選手権覇者のセルビアはブラジルにフルセットで屈した。米国、ロシア、オランダは初戦を飾った。大会は12チームが総当たり戦で争う。前回大会までとは異なり、今回は五輪予選を兼ねていない。

日本		ドミニカ共和国
1	勝（3）本	3
25	25	24
24	25	25
14	26	12
11	21	1
1	敗（0）	1

バックアタック 高さ攻略

この数年、勝負が拮抗していたドミニカ共和国を日本が初戦で退けた。古賀と石井が攻撃に変化を付けながらコンスタントに得点を奪い、落としたセットも含めて序盤にリードして優位に展開した。

高さのあるドミニカ共和国にブロックの1枚上を5点しか許さなかったのは、6月に敗れたネーションズリーグでの15点から激減。中田監督は「バックアタックをうまく使えた」と勝因の一つを挙げた。チームトップの28得点をマークした古賀、21得点の石井がともに打ち抜き、左からのスパイクも手元で巧みに打ち分けた。

ドミニカ共和国の動きは鈍かっただけに終盤に崩れた第3セットは引っ掛かる。それでも、初戦で勢いは付いた。中田監督はメダル獲得を五輪表彰台への条件と捉える。「この1勝を無駄にせず波に乗りたい」

ドミニカ共和国戦の第1セット、スパイクを放つ古賀（右）

五輪出場権狙い 村上が最終日へ

サーフィン 世界選手権　14日

宮崎市の木崎浜海岸であり、敗者復活戦に回っていた五十嵐カノアは13位、大原洋人は11位で終わった。日本勢で唯一、村上舜が敗者復活戦で勝ち残り、東京五輪出場権を獲得できるアジア勢1位をめざし、15日の最終日に臨む。

スポーツ短信

■萩野が2位　第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」は14日、茨城県ひたちなか市の山新スイミングアリーナなどで会期前競技が行われ、競泳の成年男子200㍍個人メドレーで2016年リオデジャネイロ五輪400㍍個人メドレー金メダルの萩野公介（栃木・ブリヂストン）は1分59秒76で2位だった。萩野は本振による休養からの復帰2戦目。成年女子200㍍個人メドレーは世界選手権代表の大橋悠依（滋賀・イトマン東進）が2分9秒00の大会新記録で制した。

■大坂は2回戦から　女子テニスの東レ・パンパシフィック・オープン（16～22日、大阪・ITC靱テニスセンター）の組み合わせが14日、決まった。大坂なおみは2回戦からの登場。18、19日に実施予定の2回戦で、予選通過者同士による1回戦の勝者と対戦する。

■塚本と浦が連覇　年内に15～20歳になる選手で競う柔道の全日本ジュニア体重別選手権大会（朝日新聞社後援）が14日、埼玉県立武道館で開催。初日は男子4階級があり、女子48㌔級は渡辺愛子（東海大）が決勝で、4月の全日本選抜体重別選手権を制した古賀若菜（福岡・南筑高）を破って優勝した。男子73㌔級の塚本綾（日体大）と女子63㌔級の浦明澄（日体大）が2連覇を果たし、男子81㌔級は竹市大祐（福岡・大牟田高）が制した。

（記録は各階級優勝者）

【男子】60㌔級　未松賢（明大）▽66㌔級　武岡毅（国学院大）▽73㌔級　塚本綾（日体大）▽81㌔級　竹市大祐（福岡・大牟田高）

【女子】48㌔級　渡辺愛子（東海大）▽52㌔級　川田歩実（東京・修徳高）▽57㌔級　袴田佳名瑚（静岡・藤枝順心高）▽63㌔級　浦明澄（日体大）

引退の播戸「幸せだった」ガ大阪と1日契約

元日本代表FW播戸竜二（40）が14日、現役引退を発表した。同日に古巣のJ1ガ大阪と1日限定の契約を結び、鳥栖戦の試合前のセレモニーで「最初のクラブで引退を発表できることをうれしく思う」と心境を語った。

記者会見では「こういう素晴らしい場を設けてもらって幸せな気持ち。ガ大阪では幸せな思い出しか残っていない」と感無量の表情。今後は経営者を目指す意向を示し、「Jリーグであればチェアマン、協会であれば会長。自分が必要とされるよう勉強していきたい」と夢を描いた。

播戸は1998年にガ大阪入り。札幌、神戸への移籍を挟んで2009年まで在籍。昨季限りで琉球を退団し、今季は所属先がなかった。

J2　14日

千葉 3 勝 1（1－0 0－1）1 水戸
▽フクアリ
【得点者】（千）クレーベ2（PK1）（水）前

金沢 3 勝 2（1－1 2－1）1 琉球
▽石川西部
【得点者】（金）クルーニ、金子（琉）上門、上原

甲府 3 勝 1（0－0 1－1）1 柏
▽中銀スタ
【得点者】（甲）金園（柏）江坂

徳島 3 勝 1（0－0 1－1）1 長崎
▽ポカリ
【得点者】（徳）渡井（長）呉屋

岡山 3 勝 2（1－0 1－1）1 岐阜
▽Cスタ
【得点者】（岡）李勇哉、仲間

京都 3 勝 2（2－0 0－0）0 町田
▽たけびし
【得点者】（京）小屋松、一美

新潟 3 勝 1（0－0 1－1）1 東京ヴ
▽デンカS
【得点者】（新）シルビーニョ（ヴ）レアンドロ＝PK

福岡 3 勝 1（1－0 0－0）0 栃木
▽栃木
【得点者】（福）城後

山口 3 勝 2（2－1 0－0）1 愛媛
▽みらスタ

サッカー　14日

高円宮杯プレミアリーグ
【東地区】流通経大柏高（千葉）⑰2－1清水ユ⑱、磐田ユ⑭1－0大宮ユ⑭
▼J3（14日）群馬㊹4－2FC東京U23⑲
▼JFL（14日）青森㉖2－2マルヤス岡崎㉕、ホンダロック㉞1－0松江⑭、FC大阪㉔1－0びわこ滋賀㉔、ホンダ㊻2－0ソニー仙台㉟（丸数字は勝ち点）

サッカー　14日

なでしこリーグ
伊賀⑮1－0長野⑨（丸数字は勝ち点）

フットサル　14日

Fリーグ
名古屋㊺4－3湘南㉑、浦安⑳2－2北海道⑪（丸数字は勝ち点）

明治安田生命 J1 LEAGUE　14日

明治安田生命J1は第26節の7試合があり、2位鹿島が首位FC東京との上位対決を制し、勝ち点差を1に縮めた。広島が横浜Mに敗れ、12試合ぶりの黒星。横浜Mは3連勝。3連覇を目指す川崎は磐田を下し、7試合ぶりの勝利となった。

札　幌 1－3 仙　台
大　分 2－1 湘　南
鹿　島 2－0 FC東京
川　崎 2－0 磐　田
横浜M 3－0 広　島
ガ大阪 1－0 鳥　栖
神　戸 2－1 松　本
（左がホーム）

成績　14日現在

	試	点	勝	敗	分	得	失	差
①FC東京	26	52	16	6	4	37	21	16
②鹿　島	26	51	15	5	6	48	23	25
③横浜M	26	48	15	8	3	48	32	16
④川　崎	26	44	11	4	11	40	24	16
⑤広　島	26	43	12	7	7	33	21	12
⑥セ大阪	26	43	13	9	4	29	20	9
⑦札　幌	26	39	11	9	6	44	34	10
⑧大　分	26	39	10	7	9	29	24	5
⑨神　戸	26	32	9	12	5	46	44	2
⑩清　水	26	32	9	12	5	33	58	-25
⑪名古屋	26	31	8	11	7	39	40	-1
⑫ガ大阪	26	31	7	9	10	33	38	-5
⑬湘　南	26	31	9	13	4	36	43	-7
⑭仙　台	26	31	9	13	4	31	38	-7
⑮浦　和	26	31	8	11	7	25	37	-12
⑯鳥　栖	26	27	8	15	3	23	42	-19
⑰松　本	26	24	5	12	9	16	31	-15
⑱磐　田	26	18	4	16	6	18	38	-20

第1121回toto結果

指定試合順、1ホーム勝ち 2ホーム負け 0引き分け

toto
2 1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 2 1
1等　767万6347円　（5本）
〈繰越金なし〉
2等　7万953円　（116本）
3等　4150円　（1980本）

ミニトトA
2 1 1 1 1
1等　6100円　（1218本）

ミニトトB
1 1 0 1 0
1等　5265円　（1167本）

トトゴール3
2 1 2 0 2 1
数字は得点
1等　8330円　（941本）
2等　620円　（8507本）

BIG
2 1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 2 1 1
1等　6億円　（1本）
〈繰越金6億8288万4360円〉
2等　169万7091円　（25本）
3等　4万2546円　（284本）
4等　7050円　（2567本）
5等　1290円（1万3672本）
6等　570円（5万4306本）

BIG1000
2 1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 0
1等　1275万3480円　（4本）
2等　12万8822円　（99本）
3等　1万2064円　（1055本）
4等　1320円　（6459本）

mini BIG
2 1 1 1 1 1 1 0 1
1等　111万4690円　（28本）
2等　2万5050円　（498本）
3等　4080円　（4590本）

100円BIG
2 1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 2 1 1
1等　2億円　（1本）
〈繰越金1億4986万7142円〉
2等　79万8220円　（20本）
3等　2万4648円　（259本）
4等　3360円　（1891本）
5等　900円（1万671本）